

郵便
報知新聞
第六百廿一號

山形縣下山形町の旅人宿後藤屋又安工舎の
似ける色色恋心の約を狂ひて美大夫語
東京女這留世に訓導して仮寐の愛乃夜
語り引ひて有頂天心と終に二人を連彈
故の跡に持小舟横濱(心)舟の振方より
途の追の路金もつひ果せしか素より海濱
の女多れに尻を枕うけて逃走するまは引之
ることと若らね自操正しく夫より
妻古登の年若らね自操正しく夫より
あて捜索せしと國許を幾足く東京
馬喰町に宿を需め淺草寺觀世音祈
念の路傍に雇ひる人カ車夫容貌と
見合す途端の表裏を六年以前家出
せしまは形をねむり且悦び且驚かさ
て店不伴以衣服を求め首尾よく帰國
よ及びくとど 花々柳々誌



南浜町十四番地 小舟町三丁目
月岡米次郎画 土番地龍谷在七

